

介護ロボット開発における リビングラボの取り組み

2020年7月20日

介護ロボットメーカー連絡会議

損害保険ジャパンほか

国内損保
事業

SOMPOケア

国内生保
事業

SOMPOひまわり生命保険

海外保険
事業

30カ国・地域、218都市

介護・
ヘルスケア
事業

売上高※

約3.6兆円

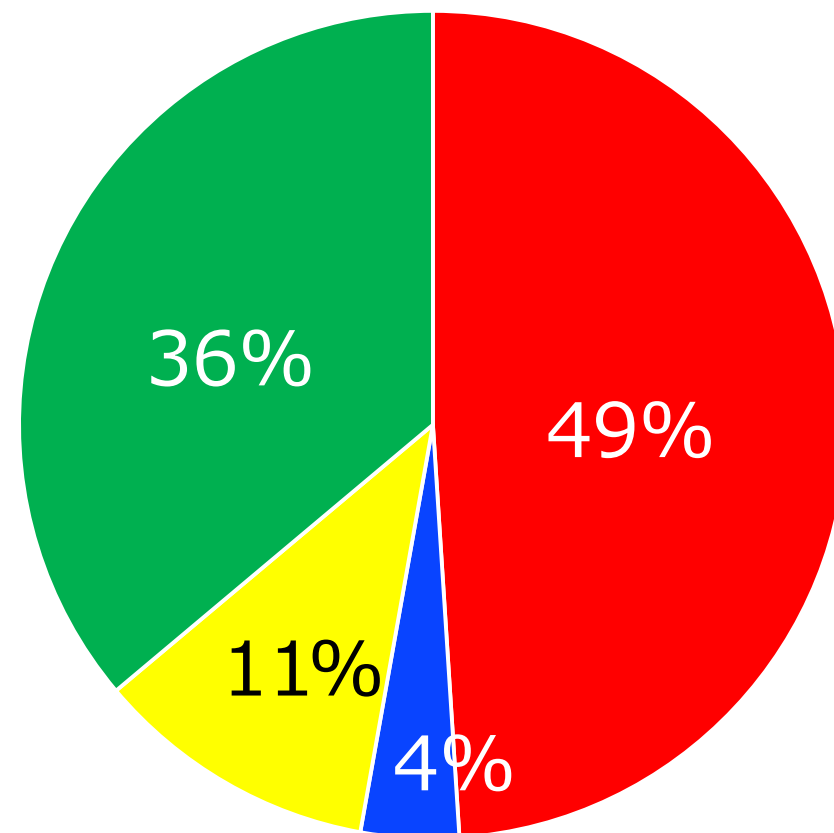
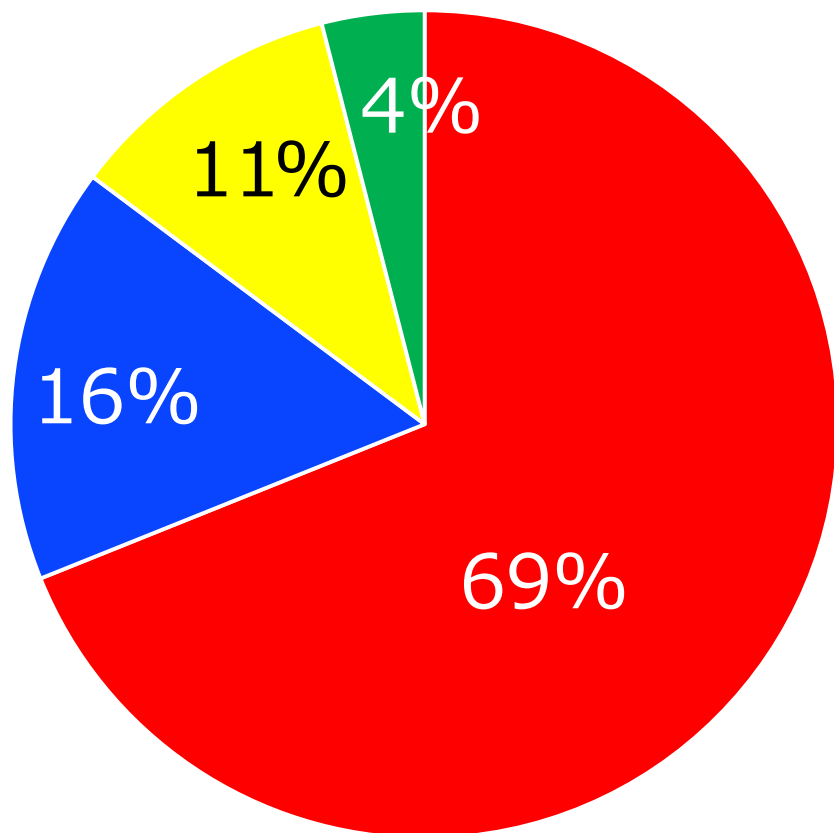
(2019年3月期)

※損保事業は正味収入保険料、生保事業は生命保険料
介護・ヘルスケアは経常収益

従業員数

約8.0万人

(2018年3月末現在)

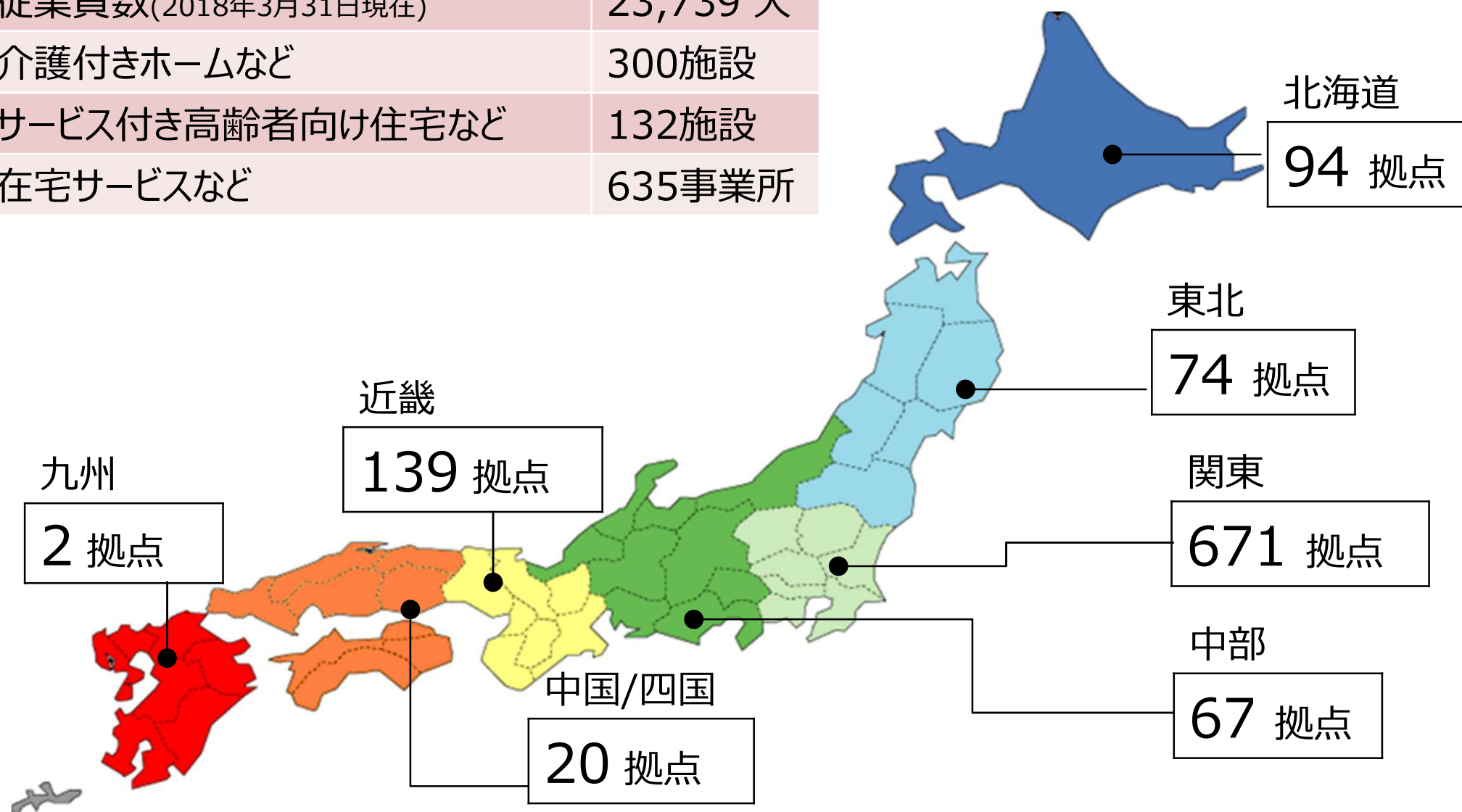


■ 国内損保 ■ 海外保険 ■ 国内生保 ■ 介護・ヘルスケア

SOMPOケアの概要

従業員数(2018年3月31日現在)	23,739 人
介護付きホームなど	300施設
サービス付き高齢者向け住宅など	132施設
在宅サービスなど	635事業所

サービス拠点 (2019年4月1日現在)

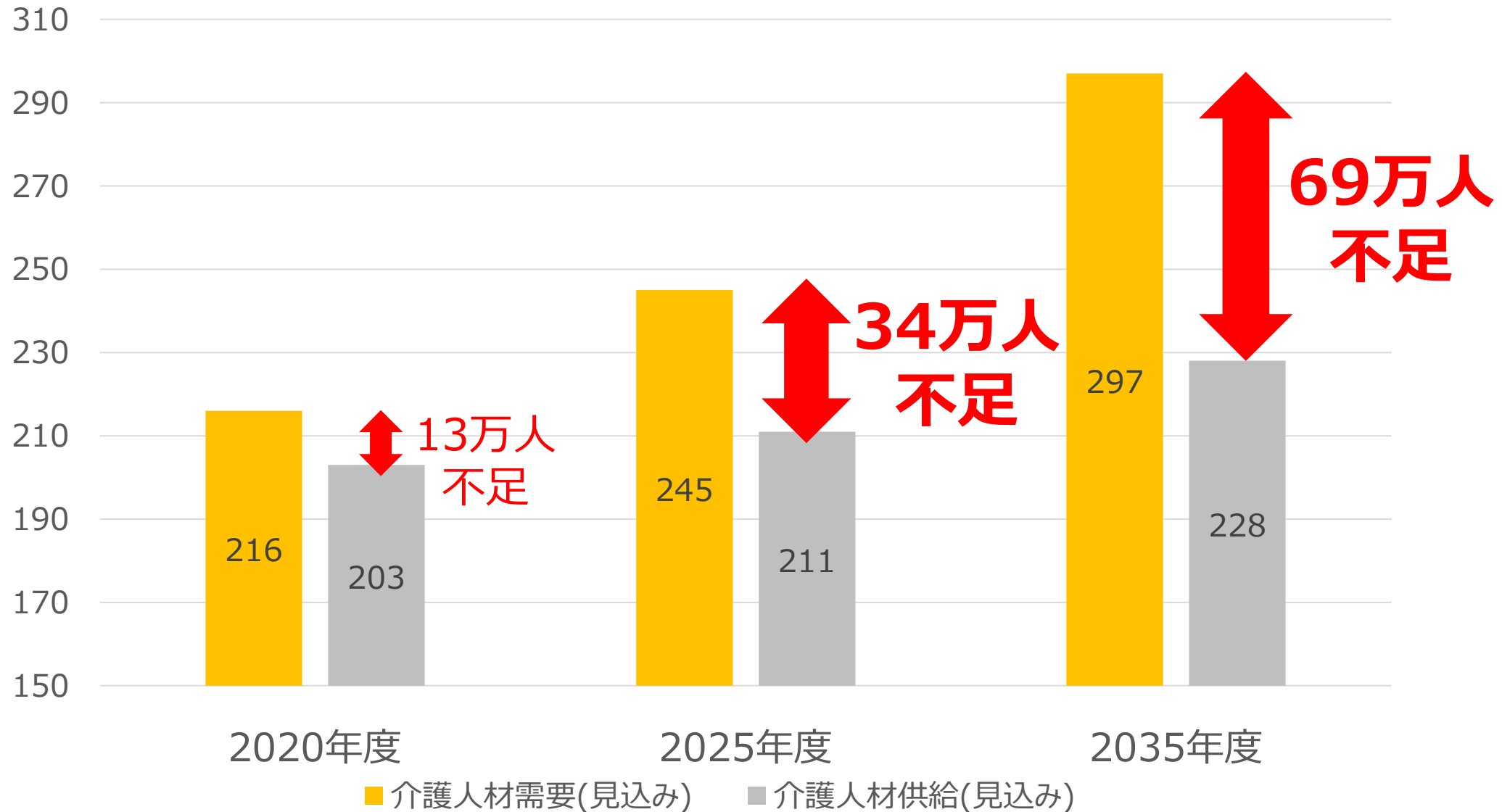


「Future Care Lab in Japan」



介護・福祉に関する新たなテクノロジーを、
国内外を問わず積極的に導入し実証するための専用施設
2019年2月5日オープン

このままでは労働者1人1人の負荷が増加



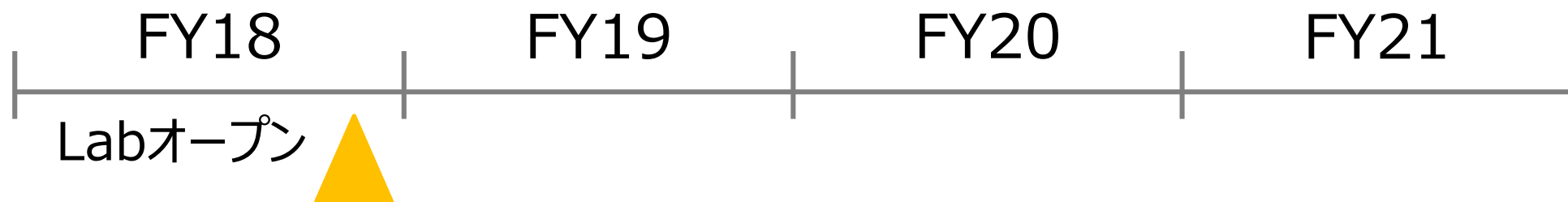
Future Care Lab in Japan

**人間とテクノロジーの共生による
新しい介護のあり方を創造**

高齢者の
自立支援
QOLの維持向上

介護職員の
働きやすい
環境づくり

介護サービスの
生産性向上



1 業務洗い出し / 業務時間算出

2 テクノロジーの置き換え検討/パートナー探し

3 安全性検証・技術検証/共同開発

4 在宅・施設への展開

ニーズとシーズのマッチング

介護現場
ニーズ



ベンダー
シーズ

食事介助

食事量記録



入浴介助

バイタル情報



排泄介助

移乗・移動



高性能カメラ

画像解析



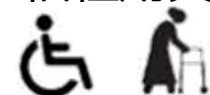
各種センサー

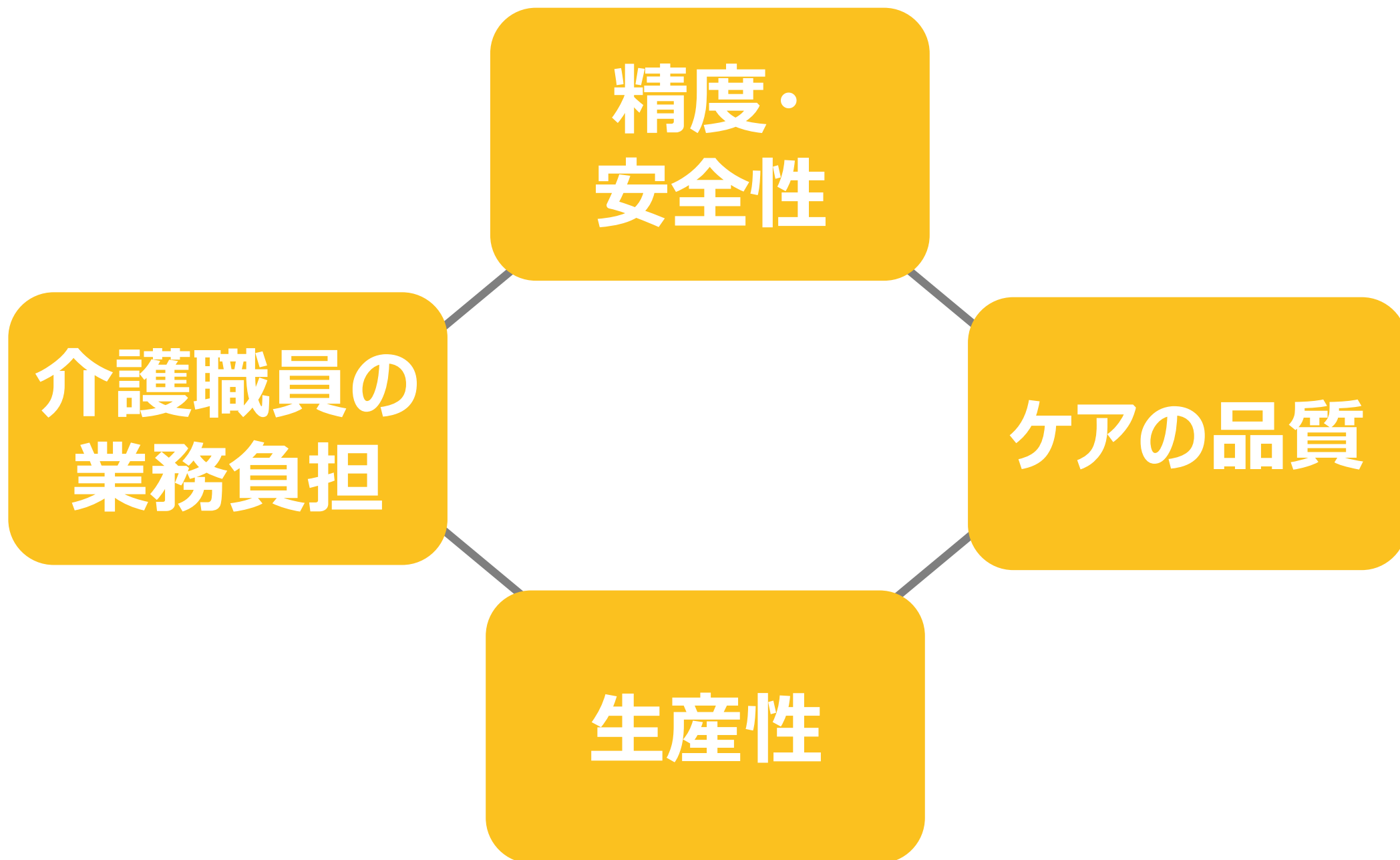
ウェアブル
・風呂センサー



ロボット技術

自動運転
・福祉用具





3大介助の周辺業務を置き換え

直接業務

食事

- 食事介助

入浴

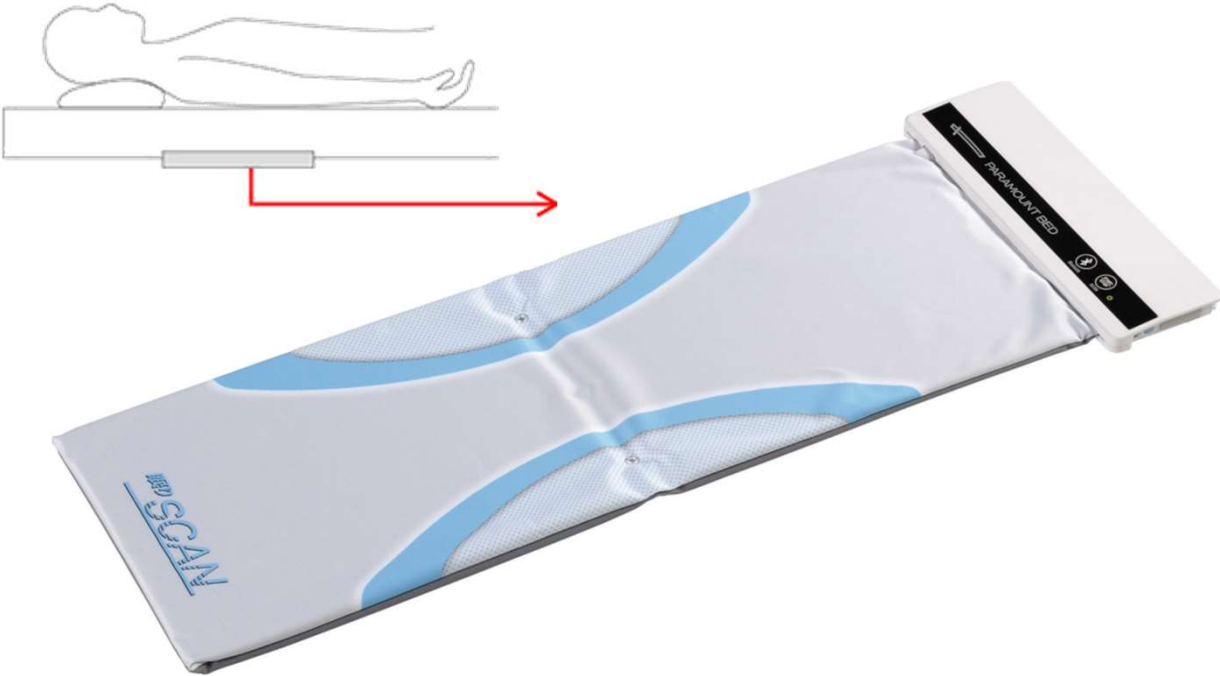
- 更衣介助
- 入浴介助

排泄

- 更衣介助
- 排泄介助

周辺業務

- 食堂への移動
 - 配膳/下膳
 - 記録
-
- 入浴準備
 - 洗濯物の集配
 - 見守り
 - 記録
-
- 排泄アセスメント
 - 排泄処理
 - 記録



対象		入居者全員。特に、夜間覚醒していることが多い入居者。
導入効果	職員	夜勤者の人員削減、業務負荷軽減、介助時間数削減
	入居者	マットレスの下に敷くだけで、睡眠時の状況を把握して、より良い睡眠をサポートできる。生活習慣の改善や、体調変化の早期発見にも役立つ。